

ふれあい

2021年
秋号

敬老の日 ご長寿おめでとうございます

ご家族インタビュー「母の百年」
笑顔いっぱい「夏まつり」てんこ盛り
悔いのない看取りがしたい
地域医療とのつながり 田谷の里



愛生福祉会
人財開発プロジェクト
Human resource development project

介護職
積極採用中
看護職

私たちと一緒に働いて
いただける仲間を募集しております。



各施設に直接ご連絡いただくか、ホームページからもお応募
していただけます。まずはお気軽にご連絡下さい。皆様
のご応募お待ちしております。

VOICE
of persons

伊関圭吾 (庄内の里)
令和3年度入職



令和3年4月に庄内の里に入職し、沢山の貴重な
体験をさせて頂いています。
以前まで未熟な高校生として毎日を過ごしてい
ましたが、現在では社会人として日々成長して
いなくてはならないと思い、先輩に支えて貰
いながら日々努力しています。これから先も初心
を忘れずに、毎日小さな目標を作り、先輩方を
見習って、日々成長していきたいです。

お気軽にお問い合わせください

0120-03-1165
リクルート担当 / 水田 村尾



社会福祉法人
愛生福祉会

法人事務局

〒462-0025 名古屋市北区鳩岡町1-7-20
TEL 052-916-3759 FAX 052-916-3764 jimukyoku@aiseifukusikai.jp



特別養護
老人ホーム
愛生苑
名古屋市北区五反田町108-2
TEL 052-901-7621



特別養護
老人ホーム
庄内の里
名古屋市西区中小田井2-98
TEL 052-505-1165



特別養護
老人ホーム
龍心
名古屋市北区鳩岡町1-7-20
TEL 052-916-3755



特別養護
老人ホーム
黒石荘
名古屋市緑区黒沢台5-211
TEL 052-876-2611



特別養護
老人ホーム
安井乃郷
名古屋市北区安井1-10-10
TEL 052-981-4165



特別養護
老人ホーム
御牧里
愛知県丹羽郡大口町下小口6-124-2
TEL 0587-95-8151



軽養老人ホーム
名古屋市中区安田通2-4-2
TEL 052-762-1638



養護老人ホーム
名古屋市中区下志段味長廻2280-12
TEL 052-736-2368



グループ
ホーム
中井
名古屋市西区中小田井5-240
TEL 052-509-7717



グループ
ホーム
集
名古屋市守山区瀬古3-830
TEL 052-793-7004



名古屋市中区萩野通1-26-1
TEL 052-916-5758



名古屋市中区簡井1丁目2-1-1
TEL 052-938-0065



名古屋市中区中小田井3-389
TEL 052-504-3301



サービス付き
高齢者向け住宅
七福
名古屋市中区中味2-207
TEL 052-903-0729



特別養護
老人ホーム
谷の里
神奈川県横浜市栄区田谷町1364-2
TEL 045-852-0012



品川区立上大崎
特別養護
老人ホーム
東京都品川区上大崎
3-10-7
TEL 03-5447-5363



東京都品川区上大崎3-10-7
TEL 03-3440-6311



名古屋市中区五才美町95 ファイビービル 1F
TEL 052-938-8880



事業所内託児所
ホッポ/ハッピー/はとホッポ
庄内の里第2デイサービス・
愛生苑・鳩の丘

悔いのない 看取りがしたい

御桜乃里居宅介護支援事業所 介護支援専門員
下平かをり

この夏、私自身もそんな家族の一人でした。私自身、介護支援専門員としてたくさんの終末期に関わらせていただきましたが、いざ自分の父となると大きく動揺し、迷いました。本当に自宅で看取ることができるのか？と。

自宅で見取るにはマンパワーが必要となります。介護する家族が倒れてしまった場合は本末転倒です。自宅で看取ると決めたものの、期限のわからない介護です。家族として永く一緒に過ごしたいけど、苦しい時間が続くのも辛いと複雑な心境の中、緩和ケア病棟のエン

悔いのない看取りを

そんなコロナ禍の今、「入院すると会えなくなる」という想いから、がん末期など最期は自宅で看取りたいと「在宅介護」を決められるご家族が増えています。

それは「看取り期」となった時も同様で、面会人数・回数・時間を制限され、ご本人だけでなくご家族にとっても大きなストレスとなっています。

令和2年初頭から始まった、新型コロナウイルスの大流行により、高齢者施設や医療機関を取り巻く環境は大きく変わりました。

コロナ禍だからこそ

多くの施設や機関で重症化や死亡リスクの高い高齢者を感染から守るため、面会の中止や制限がされています。リモート面会やガラス越し面会などを取り入れるなど工夫をしていますが、どうしても「見え難く、聞こえ難い」高齢者にとって、「家族と同じ場にいる」という安心感を得る事が難しい状況です。

ご長寿 敬老の日 おめでとうございます。 ございます。



料理が上手で、家族の好物の唐揚げをよく作ってくれました。どの唐揚げより美味しかったですね。身体を動かすことも好きで、93歳まで自転車まで遠くに出かけていたんですよ。

百歳になられた安井乃郷の桑名綾子様のご家族にお話を伺いました。

米寿88歳・卒寿90歳・白寿99歳・紀寿100歳を迎えられた皆さま

※掲載の年齢は満年齢です

愛生苑		鳩の丘		藤田弘子様	90歳	小森絹代様	88歳	川島ヤエ子様	88歳
玉置ときゑ様	88歳	長谷川てる子様	88歳	川口儀守様	90歳	紅林未彦様	88歳	川口也夫様	90歳
羽賀省三様	88歳	加藤紀久子様	88歳	佐藤ツルヨ様	99歳	相宮貴佐子様	90歳	水上淑代様	90歳
加藤洋子様	90歳	小栗 要様	88歳	黒石荘		山田 明様	90歳	竹内美智子様	90歳
戸嶋久子様	90歳	望月文夫様	90歳	太田善子様	88歳	吉田弘子様	90歳	柳井辰彦様	90歳
小島金吾様	90歳	新井一代様	90歳	安田荘		花輪貞良様	90歳	鈴木弘子様	90歳
岩崎辻子様	90歳	荒岡竜子様	90歳	佐治美智子様	88歳	伊藤富男様	90歳	榎田鈴子様	99歳
庄内の里		杉藤重昭様	90歳	横井豊子様	88歳	岡田善美様	99歳	沓澤保江様	100歳
櫻井順子様	88歳	伊藤ひさゑ様	99歳	伊藤トミ様	88歳	中小田井		有田節子様	100歳
清水順枝様	88歳	五島ハルエ様	99歳	田代三枝子様	88歳	澤田房子様	88歳	上大崎	
岩瀬トキ様	90歳	御桜乃里		伊藤 力様	88歳	集い		白石晃子様	88歳
安井乃郷		齋藤タツエ様	88歳	田中幸子様	88歳	森よし子様	90歳	佐藤素子様	88歳
小松美代子様	88歳	加藤 勇様	88歳	工藤益枝様	90歳	岩本武様	90歳	加藤利一様	88歳
杉野ヨネ様	88歳	安藤昌子様	88歳	寿楽荘		七福		鈴木静江様	88歳
原 玲子様	88歳	岩田正二様	88歳	山下幸子様	88歳	嶋田郁子様	88歳	小林直之様	90歳
鈴木西二様	88歳	犬丸八重子様	88歳	小山秋子様	88歳	大野ヨリ子様	90歳	井上和子様	99歳
久田美雪様	88歳	齋藤タカ子様	88歳	五由出きよ様	90歳	近藤浪江様	90歳	児玉晶子様	99歳
平山登喜代様	88歳	松葉作榮様	90歳	はぎの		嶋田耕作様	90歳	牧内エイ様	100歳
和田郁代様	90歳	田中順子様	90歳	服部正子様	88歳	田谷の里		豊永千恵子様	100歳
酒井洋子様	90歳	太田恵美子様	90歳	小西英子様	88歳	嶋 昌彦様	88歳	原孝子様	100歳
桑名綾子様	100歳	森谷 馨様	90歳	村山マサ子様	88歳	小澤美英子様	88歳	前川すみ子様	101歳



寿楽荘

今年の寿楽荘の夏祭りで一番好評だったのは鰻！一色産の生鰻を炭火焼きで召し上がって頂きました。焼き具合が絶妙で身はふわふわ、皮はカリカリで、美味すぎて忘れられない味でした。鰻パワーで今年は夏バテ知らず！



うなぎだけ
じゃないよ～



6月に庭にナス、きゅうり、トマトの苗を植え、成長を楽しみながら育てた甲斐あって、夏にたくさん収穫できました。採れた野菜で作った漬物や料理は絶品！

集い



笑顔いっぱい！

夏まつり

てんこ盛り

鳩の丘

今年もミニ夏祭りとミニ縁日を開催しました。盛大に、とはいきませんが工夫を凝らして皆さまには楽しんでいただけたようです。来年こそはコロナが落ち着いて盛大に夏祭りが開催できるよう職員一同心から願っております。



田谷の里



夏祭りは多目的ホールにて、ユニット毎に少人数でゲームやアトラクションを楽しんでいただきました。恒例のソーラン節も披露しました。



さすがです
師匠！
まあな！



うん、
甘いな！



はぎの

今年も恒例のスイカ割り大会を開催しました。今年のスイカは皮が厚くなかなか割れませんが、それでもそれは美味しい証拠。みんなやっぱり甘くてみずみずしくて、とても美味しスイカでしたよ。



御桜乃里

縁日のバルーンアートは職員たちの腕前が年々上がってきて、もはやプロ並み。夕方からは今年もベランダビアガーデンと花火大会を開催しました。



さすらいの
アイス売りです

こんにちは



地域医療との連携

田谷の里

フットケア担当看護師が来設

前年度からお世話になっている「ふくろ皮膚科」様のご紹介で「夢足・足の保健教室港南」様から3名の担当看護師に田谷の里に来設頂き、ご利用者にフットケアを実施して頂きました。

施術したご利用者からは大変好評で「初めてこんなに詳しく足を看てもらってすごくうれしい」「足の爪を綺麗にしてもらったら、足がすごく上がるようになった」と、笑顔で語っておられ、改めて足のケアの大切さを知ることが出来ました。また夢足様と田谷の里の看護師同士で手技や情報の交換をしたりと、我々職員にとっても大変有意義な時間を過ごす事ができました。

田谷の里はこれからも地域との繋がりを大切に、地域に信頼される施設として精進して参ります。



協力病院より言語聴覚士が訪問

田谷の里では管理栄養士が栄養バランスを考えながら、季節を感じることでできる献立を考え、直営の厨房で調理員が手作りの料理を提供しておりますが、さらに安全かつ安心してご利用者に美味しく召し上がって頂くために、協力病院である西横浜国際総合病院と連携し、週3回、言語聴覚士に訪問していただいています。

一人ひとりの能力に合わせた最適な食事提供が出来るのか評価することで、誤嚥性肺炎の予防はもちろんの事、最期まで口から食事を摂るための支援へとつなげています。

■管理栄養士が食事の様子を伝え、多角的な視点から課題を抽出。

■実際の食事の様子を確認し、食事の形や食器、姿勢、飲み込みを確認。また、触診により、飲み込む力を喉の動きで確認。

■訪問毎に管理栄養士、機能訓練指導員、看護師、歯科衛生士、介護支援専門員、生活相談員等の各専門職が集まりカンファレンスを開催、専門的かつ多角的な視点から課題解決へ導くケア内容を決定。



黒石荘職員の三浦さんは車椅子の修理をはじめ、施設のドアやカーテンレールなどいろいろな物の修理を幅広く行っており、黒石荘のお父さんの存在です。職員はもちろん、利用者様にとっても信頼されています。

また最近では、施設のイベントで使用する様々なものを作っています。例えば、お正月には鳥居を、夏祭りには巨大なスマートフォンボール台や屋台を制作し、たくさんの利用者様に楽しんでいただいています。

作品作りを始めたきっかけは、コロナの感染拡大で初詣に行けなくなった利用者様のために施設内に鳥居を作り、利用者様に大変喜ばれたことでした。そして、車椅子の修理や作品作りを通して多くの方と接することで他フロアの利用者様に覚えられ話しかけられるようになり嬉しかったとのことでした。

せっかく時間をかけて作り上げた作品を三浦さんはイベント後に必ず解体してしまいます。それは来年も同じものを使って、似たような行事にならないようにするためだそうです。毎年色々考えて、変わった行事が出来るように、との思いが込められています。

今後やってみたいことを聞いたところ「古き良き時代もいいけれど、利用者様が見たこともない新しいものを見せてびっくりさせたい。まだ他の施設がやったことが無い新しいことに挑戦していきたい」と意気込みを語ってくれました。今後も黒石荘のイベントは盛り上がること間違いありませんので乞うご期待です！



技アリ列伝
その九

黒石荘 介護職員
三浦 剛さん



敬老の日

ご家族インタビュー

母の百年。

孝子さんは、大正10年（1921年）7月24日に東京都品川区に生まれ、品川で育ちました。幼い頃より手先が器用で、料理や裁縫が得意でおせち料理は親戚の分まで作って配ったり、裁縫は10歳下の弟さんの制服を作る程の腕前でした。字も達筆で、手紙を皆によく書いていたそうです。

小学校を卒業されて、20代後半の頃に実家のお兄さんが経営する工場で働いているご主人と出会い、結婚。そして2人のお子様に恵まれました。孝子さんとご主人は若い頃からとても仲が良く、いつもお互いを思いあっていたいました。



旅行がお好きでご主人と国内を車で温泉巡りをされたり、海外旅行も50回を超える程になるそうです。特に印象的だったのが弟さんと息子さんと3人で訪れたペルーのマチュピチュで『空中都市』と

呼ばれるだけあって日本からは30時間以上かかるため、たどり着くのもひと苦労だったとか。



上大崎に入居される前は、品川区内の高齢者住宅の同じ部屋で夫婦で過ごされていました。特別養護老人ホームに入居されるにあたり、同じ施設で過ごせる環境を第一に考え、当時新設だった上大崎に入居申し込みをされました。希望が叶い、同じユニットのお隣同士の居室に入居されました。入居後もとても仲睦まじく、寝る時以外はほぼご主人のお部屋で一緒に過ごされていました。3年前にご主人は孝子さんとご家族に見守られながら旅立たれました。孝子さんは数カ月の間、息子さんにご主人の事を尋ねられていました。そんな孝子さんの思い、息子さんは思いのあるご主人の居室への移動を希望されました。そして、移動

されて現在もご主人の温もりに包まれてお元気に過ごされています。孝子さんは今年100歳を迎えられました。最近の楽しみは音楽療法士による音楽セラピーに参加されることです。耳が聞こえないながらも、皆さんと一緒に歌を唄っています。

敬老の日によせて、品川区立上大崎特別養護老人ホームに入居され、今年で百歳になられた原孝子さんの息子さんにインタビューさせていただきました。

息子さんは週2〜3回の面会にお越しいただいていましたが、コロナ禍の現在はリモート面会や動画で様子をお伝えしております。息子さんより「耳が聞こえないが、リモート面会時に筆談で困った事がないかと聞いたときに、『みんなが楽しそうだから、わたしも楽しい。』と返答があり、とても安心しました。コロナ禍で会えなくなり、とても残念ですが今まで世話になった母なので、これからも長生きしてほしいです。」とお言葉をいただきました。

